

平成 22 年 1 月

( 第 1 回 )

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成22年1月14日 午後 2 時  
閉 会 平成22年1月14日 午後 3 時 3 3 分

2 出席委員

大 橋 委 員 長      冷   泉   委   員      岩   田   委   員  
畑            委   員      谷   口   委   員      田 原 教 育 長

3 欠席委員

な   し

4 出席事務局職員

|     |          |     |         |
|-----|----------|-----|---------|
| 宮 野 | 教育次長     | 橋 本 | 管理部長    |
| 高 熊 | 指導部長     | 前 川 | 総務企画課長  |
| 小 橋 | 教職員課長    | 桐 村 | 学校教育課長  |
| 藤 井 | 高校教育課長   | 下河邊 | 総務企画課参事 |
| 奥 田 | 総務企画課副課長 | 廣 田 | 総務企画課主任 |
| 嶋 田 | 総務企画課主任  |     |         |

## 5 議事の概要

### (1) 開会

委員長が開会を宣告

### (2) 前会議録の承認

ア 12月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

### (3) 報告事項

ア 請願・陳情等の受理状況について

(ア)「全国学力・学習状況調査」にかかわる緊急申し入れについて

#### 【報告】

学校教育課長から、申し入れの概要について説明の後、現在、文部科学省からの依頼を受け、平成22年度の調査の参加協力と希望の取りまとめを行っていること。調査への参加は、参加主体である市町村教育委員会において、判断されることと考えている旨の説明があった。

#### 【意見等】

委員から、京都府内における学校の指定状況について質問があり、学校教育課長から、抽出された学校について連絡があり、市町村教育委員会を通じて、当該学校が調査に協力いただけるのかを確認中である旨の説明があった。また、委員から、中止すべきとの意見は序列化と過度の競争を懸念するものであるが、子どもにとっては社会に挑戦する意味で良い機会ではないかと思う旨の意見があった。

(イ) 京都府教育振興プランの策定について

#### 【報告】

総務企画課長から、教育基本法の改正により、地方自治体に教育振興のための計画の策定が努力義務化されたこと。京都府の教育改革を総合的に進めるため平成13年に「京の子ども、夢・未来プラン21」を策定後、約10年が経過していることから、現在、京都府教育振興プラン検討会議を立ち上げ、素案の検討を行っていること。今後も節目ごとに報告し、委員の意見を伺いながら新たなプランの検討を進めていきたい旨の説明があった。

#### 【意見等】

委員から、策定にあたっては、保護者や地域の方々に入っただき検討を進め、京都府が持っている様々な資源を出していくことが大切であること。そのために地域の方々の意見を引き出す工夫が必要である旨の意見があり、策定作業の中で府民の意見を反映していく手法について質問があった。総務企画課長から、第1次素案

を作成した後、意見募集や意見交換の機会を設けるなどの取り組みを行っていきたい旨の説明があった。また、「京の子ども、夢・未来プラン21」に代わる計画として検討を進めるにあたって、これまでの課題を分析し、新しいプランに盛り込むべきとの意見があった。

#### (4) 議決事項

##### ア 第1号議案 平成22年度「指導の重点」について

###### 【議案提案】

教育長から、平成22年度における学校教育及び社会教育の基本方針を定めるため、指導の重点を策定する旨の議案提案があり、指導部長から、平成21年度の指導の重点の進捗状況を把握しながら、6項目の基本的な考え方に基づき見直しを行うこととしたこと。主な内容として、質の高い学力の育成を明確にし、ことばの力の育成、読書活動の充実を強調するなどの修正を行うこととした旨の説明の後、前年度との修正箇所についての説明があった。

###### 【意見等】

委員から、ことばの力の育成には現場の先生方の取り組みが重要となるが、実践的な内容に繋げるために、どのような支援を行うのかとの質問があり、指導部長から、読書力の向上のためのプログラムを作成し、取り組み事例などをとりあげた指導資料をまとめ、発達段階に応じた事例を紹介するなど、様々な教科の中で取り組めるよう支援をしていきたい旨の説明があった。また、委員から、生涯学習が取り組まれて一定の年数が経過し、高齢者の学習意欲が高いことを感じる反面、20代ではそれほどでもない実情があると思うこと。若い世代が学習へ意欲を持てるような工夫を考えて行く必要があると思っている旨の意見があった。

[原案どおり可決。]

##### イ 第2号議案 京都府子どもの読書活動推進計画の改定について

###### 【議案提案】

教育長から、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第1項の規定に基づき、平成16年に策定した京都府子どもの読書活動推進計画の改定を行うため提出する旨の議案提案の後、指導部長から、子どもの読書を取り巻く状況として、学年が進むにつれて読書量の低下が見られること、改定案では、家庭、学校、地域におけるそれぞれの読書活動推進の努力目標を掲げ、市町村や関係団体等と連携の下、具体的な取り組み方策を掲げており、効果的な読書活動の推進に努めていきたい旨の説明があった。

###### 【意見等】

委員から、学校での読書活動推進の方策として全校実施を目標とする具体的事項は、5年後の計画期間終了時に向けてしっかりと取り組んでいただきたいこと。保護者も協力し、テレビを消す日を決めるなどの横の繋がりをもって進めていく方法も効果が高いと思うこと。ブログでお勧めの本を紹介しあうような読書のおもしろさを伝える仕組みが何かできないかと思うこと。府立図書館の本を府内全域に貸し出

す取り組みも、多くの蔵書を持つ大学図書館とも連携できればよいと思うこと。また、携帯小説などの電子媒体の本についての位置づけについて質問があり、指導部長から、電子媒体の本について課題にはあがったものの計画に盛り込むまでには至っていないこと。活用方法について今後研究をしていきたい旨の説明があった。

[原案どおり可決。]

ウ 第3号議案 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

【議案提案】

教育長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うものである旨の議案提案の後、総務企画課長から、昨年度と同様に、教育委員会委員の活動状況、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の2点で構成し、京都府行政評価委員会による外部評価を活用して取りまとめたこと。今後、平成22年2月府議会定例会で報告する旨の説明があった。

【意見等】

委員から、外部評価については概ね高い評価であるが、最も高い評価を得られるよう、しっかりと取り組んでいただきたい旨の意見があった。

[原案どおり可決。]

エ 第4号議案 小学校教員の懲戒処分について 【非公開】

[原案どおり可決。]

(5) 協議

ア 平成22年2月京都府議会定例会提出見込議案について 【非公開】

(6) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号及び第4号)

議決事項エ及び協議事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(7) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

大 橋 委 員 長

冷 泉 委 員

岩 田 委 員

畑 委 員

谷 口 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員